

ダイワ・スイス 高配当株ツインα (毎月分配型)

運用報告書(全体版)

第107期 (決算日 2023年1月17日)
第108期 (決算日 2023年2月17日)
第109期 (決算日 2023年3月17日)
第110期 (決算日 2023年4月17日)
第111期 (決算日 2023年5月17日)
第112期 (決算日 2023年6月19日)

(作成対象期間 2022年12月20日～2023年6月19日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2013年12月18日～2028年12月15日	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	当ファンド	イ. ケイマン籍の外国投資信託「UBS(CAY)スイス・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ツイン・アルファ・ファンド」の受益証券(円建) ロ. ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	円建ての債券
組入制限	当ファンドの投資信託証券組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に、基準価額の水準を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

■信託期間を5年間延長し、信託期間終了日を2023年12月15日から2028年12月15日に変更しました。

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、配当利回りの高いスイス株式へ投資するとともに、オプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先(コールセンター)
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			スイスSMI指数 (配当込み、円換算)		スイス・フラン 為替レート		公 社 債 入 率 組 比	投資信託 受益証券 組入比率	純 資 産 額 総
	(分配落)	税 込 分 配 金	期 中 騰 落 率	(参考指数)	期 中 騰 落 率	(参考指数)	期 中 騰 落 率			
	円	円	%		%	円	%	%	%	百万円
83 期末 (2021年 1 月18日)	5,382	40	2.1	17,529	3.7	116.48	△ 0.3	—	98.9	14,503
84 期末 (2021年 2 月17日)	5,469	40	2.4	17,930	2.3	118.81	2.0	—	98.9	14,338
85 期末 (2021年 3 月17日)	5,497	40	1.2	17,973	0.2	117.93	△ 0.7	—	98.6	14,085
86 期末 (2021年 4 月19日)	5,615	40	2.9	18,732	4.2	118.04	0.1	—	99.0	13,988
87 期末 (2021年 5 月17日)	5,607	40	0.6	19,171	2.3	121.31	2.8	—	98.7	13,779
88 期末 (2021年 6 月17日)	5,807	40	4.3	20,769	8.3	121.91	0.5	—	98.8	13,782
89 期末 (2021年 7 月19日)	5,699	40	△ 1.2	20,440	△ 1.6	119.54	△ 1.9	—	98.7	13,081
90 期末 (2021年 8 月17日)	5,801	40	2.5	21,125	3.4	119.64	0.1	—	99.1	12,995
91 期末 (2021年 9 月17日)	5,542	40	△ 3.8	20,239	△ 4.2	118.34	△ 1.1	—	98.8	12,128
92 期末 (2021年10月18日)	5,581	40	1.4	21,048	4.0	123.64	4.5	—	98.7	12,035
93 期末 (2021年11月17日)	5,630	40	1.6	22,063	4.8	123.45	△ 0.2	—	98.5	11,873
94 期末 (2021年12月17日)	5,600	40	0.2	22,544	2.2	123.84	0.3	—	98.6	11,586
95 期末 (2022年 1 月17日)	5,683	40	2.2	22,289	△ 1.1	125.03	1.0	—	98.5	11,585
96 期末 (2022年 2 月17日)	5,596	40	△ 0.8	21,737	△ 2.5	125.28	0.2	—	98.5	11,234
97 期末 (2022年 3 月17日)	5,457	40	△ 1.8	21,576	△ 0.7	126.53	1.0	—	98.7	10,895
98 期末 (2022年 4 月18日)	5,797	40	7.0	24,376	13.0	134.27	6.1	—	99.3	11,471
99 期末 (2022年 5 月17日)	5,369	40	△ 6.7	22,012	△ 9.7	129.08	△ 3.9	—	99.2	10,425
100 期末 (2022年 6 月17日)	5,120	40	△ 3.9	21,066	△ 4.3	137.56	6.6	—	98.5	9,759
101 期末 (2022年 7 月19日)	5,327	40	4.8	22,749	8.0	141.33	2.7	—	98.7	10,124
102 期末 (2022年 8 月17日)	5,445	40	3.0	23,015	1.2	141.44	0.1	—	98.8	10,262
103 期末 (2022年 9 月20日)	5,328	40	△ 1.4	23,060	0.2	148.57	5.0	—	98.6	9,923
104 期末 (2022年10月17日)	5,131	40	△ 2.9	22,393	△ 2.9	148.09	△ 0.3	—	98.6	9,507
105 期末 (2022年11月17日)	5,407	40	6.2	23,640	5.6	147.66	△ 0.3	—	98.8	9,940
106 期末 (2022年12月19日)	5,297	40	△ 1.3	23,019	△ 2.6	146.00	△ 1.1	—	98.9	9,552
107 期末 (2023年 1 月17日)	5,226	40	△ 0.6	23,240	1.0	138.82	△ 4.9	—	98.6	9,279
108 期末 (2023年 2 月17日)	5,430	40	4.7	23,740	2.2	144.86	4.4	—	98.5	9,568
109 期末 (2023年 3 月17日)	5,185	40	△ 3.8	22,816	△ 3.9	143.58	△ 0.9	—	99.0	9,036
110 期末 (2023年 4 月17日)	5,483	40	6.5	25,373	11.2	149.58	4.2	—	98.7	9,464
111 期末 (2023年 5 月17日)	5,532	40	1.6	26,431	4.2	152.28	1.8	—	98.8	9,478
112 期末 (2023年 6 月19日)	5,592	40	1.8	27,253	3.1	158.71	4.2	—	99.4	9,502

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) スイスSMI指数(配当込み、円換算)は、スイスSMI指数(配当込み、スイス・フランベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。

(注6) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

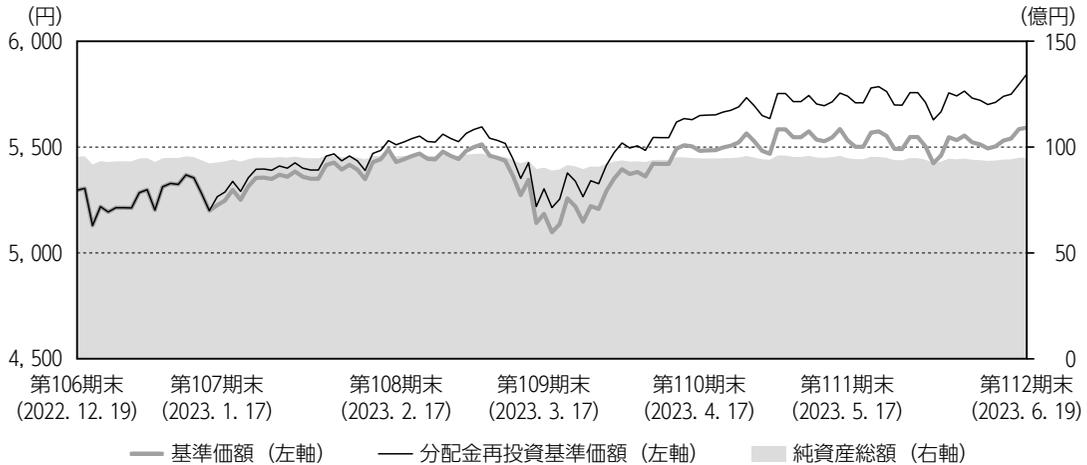
(注7) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。

※参考指数の「スイスSMI指数(円換算)」を「スイスSMI指数(配当込み、円換算)」に変更しました。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

- * 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- * 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

第107期首：5,297円

第112期末：5,592円（既払分配金240円）

騰落率：10.3%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

スイス・フランが対円で上昇（円安）したことやスイス株式市況の上昇などがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。オプション取引については、通貨オプションはマイナス要因となったものの、株価指数オプションは小幅にプラス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ・スイス高配当株ツインα (毎月分配型)

	年 月 日	基 準 価 額		スイスSMI指数 (配当込み、円換算)		スイス・フラン 為 替 レ ー ト		公 社 債 組 入 率	投資信託 受益証券 組入比率
		円	%	(参考指数)	%	(参考指数)	%		
第107期	(期首) 2022年12月19日	5,297	—	23,019	—	146.00	—	—	98.9
	12月末	5,299	0.0	22,846	△ 0.8	143.74	△ 1.5	—	98.4
	(期末) 2023年1月17日	5,266	△ 0.6	23,240	1.0	138.82	△ 4.9	—	98.6
第108期	(期首) 2023年1月17日	5,226	—	23,240	—	138.82	—	—	98.6
	1月末	5,385	3.0	23,498	1.1	141.06	1.6	—	98.8
	(期末) 2023年2月17日	5,470	4.7	23,740	2.2	144.86	4.4	—	98.5
第109期	(期首) 2023年2月17日	5,430	—	23,740	—	144.86	—	—	98.5
	2月末	5,479	0.9	23,927	0.8	145.68	0.6	—	98.6
	(期末) 2023年3月17日	5,225	△ 3.8	22,816	△ 3.9	143.58	△ 0.9	—	99.0
第110期	(期首) 2023年3月17日	5,185	—	22,816	—	143.58	—	—	99.0
	3月末	5,352	3.2	23,968	5.1	146.16	1.8	—	99.2
	(期末) 2023年4月17日	5,523	6.5	25,373	11.2	149.58	4.2	—	98.7
第111期	(期首) 2023年4月17日	5,483	—	25,373	—	149.58	—	—	98.7
	4月末	5,469	△ 0.3	25,633	1.0	150.08	0.3	—	99.1
	(期末) 2023年5月17日	5,572	1.6	26,431	4.2	152.28	1.8	—	98.8
第112期	(期首) 2023年5月17日	5,532	—	26,431	—	152.28	—	—	98.8
	5月末	5,504	△ 0.5	26,251	△ 0.7	154.31	1.3	—	99.1
	(期末) 2023年6月19日	5,632	1.8	27,253	3.1	158.71	4.2	—	99.4

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2022. 12. 20 ~ 2023. 6. 19）

■ スイス株式市況

スイス株式市況は上昇しました。

当作成期首より、米国でのインフレのピークアウト観測の広がりや、中国におけるゼロコロナ政策の撤廃などが追い風となったほか、スイスの底堅い経済指標などを受けて投資家のリスク選好姿勢が強まり、スイス株式市況は上昇基調で推移しました。その後2023年3月にかけては、主要中央銀行の利上げ長期化観測などが重しとなったこと、またスイス金融大手や米国地方銀行の経営破綻に端を発した金融不安の広がりから、スイス株式市況は軟調な展開となりました。しかし、両国の金融当局の迅速な対応により金融不安への過度な警戒感が後退するに連れて株価は上昇に転じ、5月ごろまで上昇基調が継続しました。当作成期末にかけては、米国の債務上限問題や、ユーロ圏などでの根強いインフレ圧力と利上げ長期化による経済への影響懸念などから、株価は上値の重い展開となりました。

■ スイス株価指数オプション市況

期間1カ月アット・ザ・マネーのインプライド・ボラティリティ（予想変動率）は低下しました。

2022年12月半ばにS N B（スイス国立銀行）が利上げを継続する可能性を示唆したことを受けて利上げの長期化観測が広がり、当作成期首よりインプライド・ボラティリティは上昇して始まりました。その後2023年3月ごろまでは、主要株式市場の上昇に連れて、インプライド・ボラティリティは落ち着いた動きとなりました。3月半ばには、欧米の金融システムへの不安が広がったことを引き金に、市場でリスク回避姿勢が急速に強まり、インプライド・ボラティリティは再び上昇しました。その後は、金融不安に対する過度な警戒感が後退するに連れてインプライド・ボラティリティは低下し、当作成期末にかけてはおおむねレンジ内の動きで推移しました。

■ 為替相場

スイス・フランは対円で上昇しました。

スイス・フラン対円為替相場は、当作成期首より、日銀が金融政策の一部を修正したことを受けて円高が進んだほか、S N B（スイス国立銀行）が2022年の決算において過去最大の赤字を発表したことなどが嫌気されて、下落しました。しかし2023年2月に入ると、S N B高官によるタカ派的な発言が相次いだことなどを背景に、利上げ継続観測がスイス・フランの下支えとなり、上昇基調で推移しました。その後は、スイス金融大手の経営不安などが悪材料となり、スイス・フランは下落する局面もあったものの、欧米での金融システムに対する過度な不安が後退したことや、日本とスイスの金利差拡大観測などから、当作成期末にかけて堅調に推移しました。

■ スイス・フラン／円為替オプション市況

期間1カ月アット・ザ・マネーのインプライド・ボラティリティ（予想変動率）は低下しました。

当作成期首より、S N B（スイス国立銀行）が2022年の決算で過去最大の赤字幅を発表したことなどを背景としたスイス・フランの下落に連れて、インプライド・ボラティリティは2023年1月ごろまで上昇しました。その後は、S N B高官によるタカ派的な発言が相次ぎスイス・フランが反発に転じたことなどを受けて、インプライド・ボラティリティは落ち着いた動きとなりました。3月半ばには、欧米での金融不安の高まりなどからスイス・フランが下落したことに連れて、インプライド・ボラティリティは再び上昇しました。当作成期末にかけては、欧米における金融不安が後退したことなどを背景に、インプライド・ボラティリティは低下しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■ 当ファンド

引き続き、「UBS（CAY）スイス・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ツイン・アルファ・ファンド」と「ダイワ・マネーアセット・マザーファンド」に投資します。通常の状態では、「UBS（CAY）スイス・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ツイン・アルファ・ファンド」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■ UBS（CAY）スイス・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ツイン・アルファ・ファンド

スイス株式部分に関しては、企業の本源的価値が株価に十分に反映されておらず、投資妙味の高い銘柄に焦点を当てて投資を行います。スイス株式への投資に加えて、株式カバードコール戦略および通貨カバードコール戦略の活用により、オプションプレミアム（オプションの買い手が売り手に支払う対価）の確保をめざします。株式カバードコール戦略ではスイス株価指数のコール・オプション（買う権利）の売りを、通貨カバードコール戦略では円に対するスイス・フランのコール・オプションの売りをを行います。いずれのオプションも、カバー率をファンドが保有するスイス・フラン建資産の評価額に対して50%程度とすることにより、株式の値上がり益、スイス・フランの円に対する値上がり益の部分的な追求をめざします。

■ ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

（2022. 12. 20 ~ 2023. 6. 19）

■当ファンド

「UBS（CAY）スイス・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ツイン・アルファ・ファンド」と「ダイワ・マネーアセット・マザーファンド」に投資しました。「UBS（CAY）スイス・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ツイン・アルファ・ファンド」への投資割合を高位に維持しました。

■UBS（CAY）スイス・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ツイン・アルファ・ファンド

セクター別では、資本財・サービスセクターや金融セクター内の銘柄選択、ヘルスケアセクターのアンダーウエートなどが主なプラス要因となりました。一方、一般消費財・サービスセクター内の銘柄選択および同セクターのアンダーウエートなどが主なマイナス要因となりました。

個別銘柄では、Roche Holdings や Nestlé のアンダーウエートなどがプラス要因となりました。一方、Compagnie Financiere Richemont のアンダーウエートなどがマイナス要因となりました。

スイス株式への投資に加えて、株式カバードコール戦略および通貨カバードコール戦略の活用により、オプションプレミアム（オプションの買い手が売り手に支払う対価）の確保をめざしました。株式カバードコール戦略ではスイス株価指数のコール・オプション（買う権利）の売りを、通貨カバードコール戦略では円に対するスイス・フランのコール・オプションの売りを行いました。いずれのオプションも、カバー率をファンドが保有するスイス・フラン建資産の評価額に対して50%程度とすることにより、株式の値上がり益、スイス・フランの円に対する値上がり益の部分的な追求をめざしました。

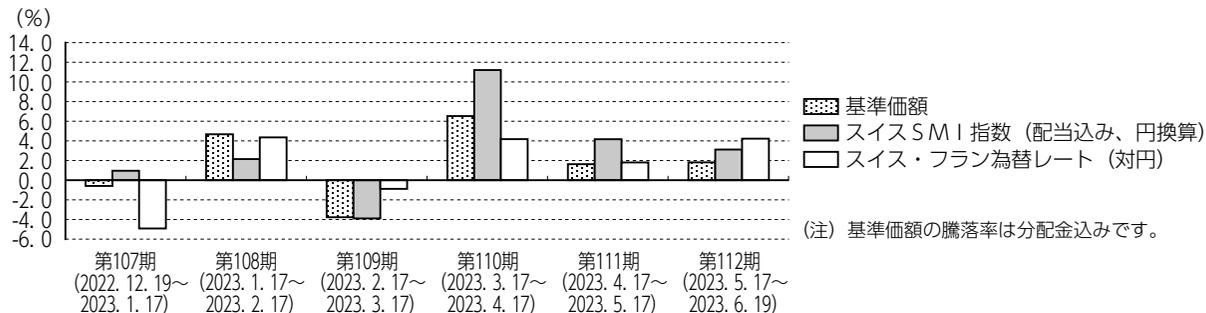
■ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第107期	第108期	第109期	第110期	第111期	第112期
	2022年12月20日 ～2023年1月17日	2023年1月18日 ～2023年2月17日	2023年2月18日 ～2023年3月17日	2023年3月18日 ～2023年4月17日	2023年4月18日 ～2023年5月17日	2023年5月18日 ～2023年6月19日
当期分配金(税込み) (円)	40	40	40	40	40	40
対基準価額比率 (%)	0.76	0.73	0.77	0.72	0.72	0.71
当期の収益 (円)	40	40	40	40	40	40
当期の収益以外 (円)	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	1,259	1,297	1,322	1,351	1,414	1,510

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第107期	第108期	第109期	第110期	第111期	第112期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 64.17円	✓ 77.72円	✓ 65.45円	✓ 68.49円	✓ 103.60円	✓ 135.73円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	199.89	202.56	204.33	208.03	210.69	212.77
(d) 分配準備積立金	1,035.34	1,056.86	1,092.82	1,114.67	1,140.57	1,202.13
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	1,299.40	1,337.15	1,362.61	1,391.20	1,454.87	1,550.64
(f) 分配金	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	1,259.40	1,297.15	1,322.61	1,351.20	1,414.87	1,510.64

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、「UBS（CAY）スイス・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ツイン・アルファ・ファンド」と「ダイワ・マネーアセット・マザーファンド」に投資します。通常の状態では、「UBS（CAY）スイス・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ツイン・アルファ・ファンド」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■UBS（CAY）スイス・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ツイン・アルファ・ファンド

スイス株式部分に関しては、企業の本源的価値が株価に十分に反映されておらず、投資妙味の高い銘柄に焦点を当てて投資を行います。スイス株式への投資に加えて、株式カバードコール戦略および通貨カバードコール戦略の活用により、オプションプレミアム（オプションの買い手が売り手に支払う対価）の確保をめざします。株式カバードコール戦略ではスイス株価指数のコール・オプション（買う権利）の売りを、通貨カバードコール戦略では円に対するスイス・フランのコール・オプションの売りをを行います。いずれのオプションも、カバー率をファンドが保有するスイス・フラン建資産の評価額に対して50%程度とすることにより、株式の値上がり益、スイス・フランの円に対する値上がり益の部分的な追求をめざします。

■ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第107期～第112期 (2022. 12. 20～2023. 6. 19)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	36円	0. 669%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は5, 406円です。
（投信会社）	(12)	(0. 218)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販売会社）	(24)	(0. 438)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(1)	(0. 013)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0. 004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	36	0. 673	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

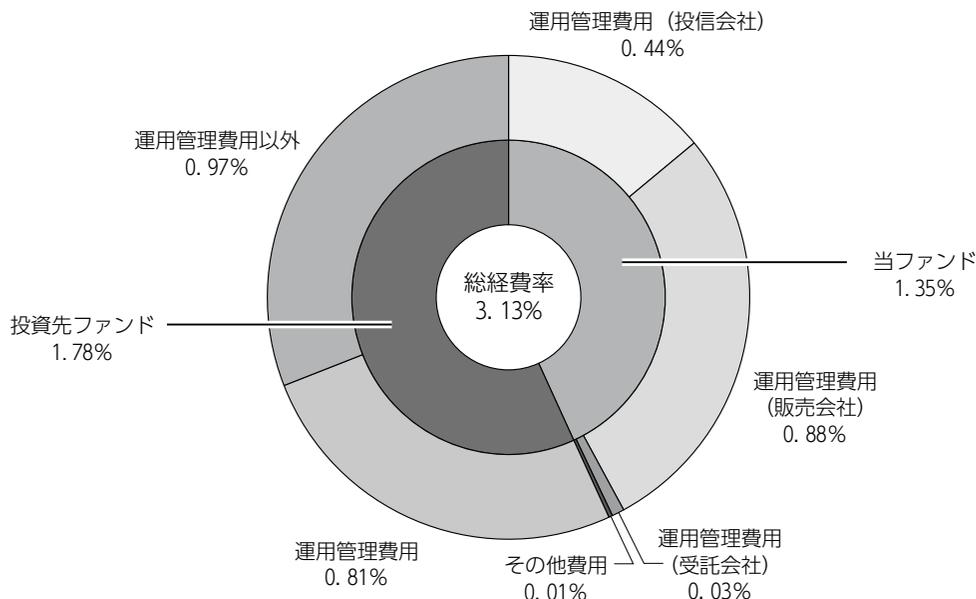
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は3.13%です。



総経費率（① + ② + ③）	3.13%
①当ファンドの費用の比率	1.35%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.81%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.97%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

(2022年12月20日から2023年6月19日まで)

決算期	第 107 期 ～ 第 112 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国（邦貨建）	21,170.02339	944,046	22,143.87916	989,000

- (注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
 (注2) 金額は受渡し代金。
 (注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

投資信託受益証券

(2022年12月20日から2023年6月19日まで)

第 107 期 ～ 第 112 期							
買 付				売 付			
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
				UBS (CAY) SWISS HIGH DIVIDEND EQUITY TWIN ALPHA FUND (ケイマン諸島)	22,143.87916	989,000	44

- (注1) 金額は受渡し代金。
 (注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 112 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) UBS (CAY) SWISS HIGH DIVIDEND EQUITY TWIN ALPHA FUND	209,872.65737	9,449,096	99.4

- (注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
 (注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第106期末	第 112 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	2,996	2,996	2,988

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2023年6月19日現在

項 目	第 112 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	9,449,096	98.4
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	2,988	0.0
コール・ローン等、その他	147,515	1.6
投資信託財産総額	9,599,601	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ・スイス高配当株ツインα（毎月分配型）

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2023年1月17日)、(2023年2月17日)、(2023年3月17日)、(2023年4月17日)、(2023年5月17日)、(2023年6月19日) 現在

項 目	第107期末	第108期末	第109期末	第110期末	第111期末	第112期末
(A) 資産	9,384,403,346円	9,654,649,706円	9,169,233,071円	9,600,815,990円	9,592,000,141円	9,599,601,285円
コール・ローン等	233,951,296	222,752,231	221,207,780	259,085,769	226,247,513	147,515,718
投資信託受益証券（評価額）	9,147,462,536	9,428,907,961	8,945,035,777	9,338,740,707	9,362,763,414	9,449,096,652
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド（評価額）	2,989,514	2,989,514	2,989,514	2,989,514	2,989,214	2,988,915
(B) 負債	104,846,308	86,308,749	132,941,464	136,075,944	113,048,743	97,307,102
未払収益分配金	71,019,791	70,491,058	69,711,941	69,045,718	68,541,166	67,964,837
未払解約金	23,679,485	4,834,097	53,165,982	56,230,991	33,673,258	17,508,221
未払信託報酬	10,085,302	10,855,418	9,874,918	10,546,060	10,516,769	11,446,431
その他未払費用	61,730	128,176	188,623	253,175	317,550	387,613
(C) 純資産総額（A－B）	9,279,557,038	9,568,340,957	9,036,291,607	9,464,740,046	9,478,951,398	9,502,294,183
元本	17,754,947,992	17,622,764,702	17,427,985,443	17,261,429,521	17,135,291,699	16,991,209,286
次期繰越損益金	△ 8,475,390,954	△ 8,054,423,745	△ 8,391,693,836	△ 7,796,689,475	△ 7,656,340,301	△ 7,488,915,103
(D) 受益権総口数	17,754,947,992口	17,622,764,702口	17,427,985,443口	17,261,429,521口	17,135,291,699口	16,991,209,286口
1万口当り基準価額（C/D）	5,226円	5,430円	5,185円	5,483円	5,532円	5,592円

* 当作成期首における元本額は18,034,768,499円、当作成期間（第107期～第112期）中における追加設定元本額は231,050,087円、同解約元本額は1,274,609,300円です。

* 第112期末の計算口数当りの純資産額は5,592円です。

* 第112期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は7,488,915,103円です。

■損益の状況

第107期 自2022年12月20日 至2023年1月17日 第109期 自2023年2月18日 至2023年3月17日 第111期 自2023年4月18日 至2023年5月17日
 第108期 自2023年1月18日 至2023年2月17日 第110期 自2023年3月18日 至2023年4月17日 第112期 自2023年5月18日 至2023年6月19日

項 目	第107期	第108期	第109期	第110期	第111期	第112期
(A) 配当等収益	124,081,974円	140,460,761円	124,013,853円	120,387,317円	188,116,115円	242,153,822円
受取配当金	124,088,647	140,464,019	124,016,719	120,389,888	188,121,256	242,160,502
受取利息	20	111	119	101	1	12
支払利息	△ 6,693	△ 3,369	△ 2,985	△ 2,672	△ 5,142	△ 6,692
(B) 有価証券売買損益	△ 167,777,753	298,558,783	△ 470,633,661	473,323,457	△ 25,743,308	△ 59,633,075
売買益	749,323	300,259,936	2,105,363	476,866,760	99,961	936,562
売買損	△ 168,527,076	△ 1,701,153	△ 472,739,024	△ 3,543,303	△ 25,843,269	△ 60,569,637
(C) 信託報酬等	△ 10,147,032	△ 10,921,864	△ 9,935,365	△ 10,610,612	△ 10,581,144	△ 11,516,494
(D) 当期損益金（A+B+C）	△ 53,842,811	428,097,680	△ 356,555,173	583,100,162	151,791,663	171,004,253
(E) 前期繰越損益金	△ 4,253,330,840	△ 4,334,717,007	△ 3,926,846,712	△ 4,297,585,875	△ 3,747,348,527	△ 3,627,101,588
(F) 追加信託差損益金	△ 4,097,197,512	△ 4,077,313,360	△ 4,038,580,010	△ 4,013,158,044	△ 3,992,242,271	△ 3,964,852,931
(配当等相当額)	(354,904,940)	(356,982,421)	(356,107,246)	(359,091,360)	(361,036,176)	(361,524,673)
(売買損益相当額)	(△ 4,452,102,452)	(△ 4,434,295,781)	(△ 4,394,687,256)	(△ 4,372,249,404)	(△ 4,353,278,447)	(△ 4,326,377,604)
(G) 合計（D+E+F）	△ 8,404,371,163	△ 7,983,932,687	△ 8,321,981,895	△ 7,727,643,757	△ 7,587,799,135	△ 7,420,950,266
(H) 収益分配金	△ 71,019,791	△ 70,491,058	△ 69,711,941	△ 69,045,718	△ 68,541,166	△ 67,964,837
次期繰越損益金（G+H）	△ 8,475,390,954	△ 8,054,423,745	△ 8,391,693,836	△ 7,796,689,475	△ 7,656,340,301	△ 7,488,915,103
追加信託差損益金	△ 4,097,197,512	△ 4,077,313,360	△ 4,038,580,010	△ 4,013,158,044	△ 3,992,242,271	△ 3,964,852,931
(配当等相当額)	(354,904,940)	(356,982,421)	(356,107,246)	(359,091,360)	(361,036,176)	(361,524,673)
(売買損益相当額)	(△ 4,452,102,452)	(△ 4,434,295,781)	(△ 4,394,687,256)	(△ 4,372,249,404)	(△ 4,353,278,447)	(△ 4,326,377,604)
分配準備積立金	1,881,164,323	1,928,959,663	1,948,947,489	1,973,276,588	2,063,399,314	2,205,237,452
繰越損益金	△ 6,259,357,765	△ 5,906,070,048	△ 6,302,061,315	△ 5,756,808,019	△ 5,727,497,344	△ 5,729,299,624

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第107期	第108期	第109期	第110期	第111期	第112期
(a) 経費控除後の配当等収益	113,934,818円	136,966,773円	114,078,424円	118,235,427円	177,534,855円	230,637,143円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	354,904,940	356,982,421	356,107,246	359,091,360	361,036,176	361,524,673
(d) 分配準備積立金	1,838,249,296	1,862,483,948	1,904,581,006	1,924,086,879	1,954,405,625	2,042,565,146
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	2,307,089,054	2,356,433,142	2,374,766,676	2,401,413,666	2,492,976,656	2,634,726,962
(f) 分配金	71,019,791	70,491,058	69,711,941	69,045,718	68,541,166	67,964,837
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	2,236,069,263	2,285,942,084	2,305,054,735	2,332,367,948	2,424,435,490	2,566,762,125
(h) 受益権総口数	17,754,947,992口	17,622,764,702口	17,427,985,443口	17,261,429,521口	17,135,291,699口	16,991,209,286口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ

1万口当り分配金(税込み)	第107期	第108期	第109期	第110期	第111期	第112期
	40円	40円	40円	40円	40円	40円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

《お知らせ》

■信託期間の延長について

信託期間を5年間延長し、信託期間終了日を2023年12月15日から2028年12月15日に変更しました。

UBS（CAY）スイス・ハイ・ディビデンド・エクイティ・
ツイン・アルファ・ファンド

当ファンド（ダイワ・スイス高配当株ツインα（毎月分配型））はケイマン籍の外国投資信託「UBS（CAY）スイス・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ツイン・アルファ・ファンド」の受益証券（円建）を主要投資対象としております。以下の内容は、直近で入手可能な Financial Statements 等から抜粋し、編集および一部翻訳したものです。

財政状態計算書

2022年11月30日

資産

金融資産（損益通算後の評価額）	¥	9,525,953,285
現金および現金同等物		477,015,045
担保としてブローカーが保有する現金		69,129,235
その他資産		70,336
資産合計		<u>10,072,167,901</u>

負債

金融負債（損益通算後の評価額）		113,046,486
保管会社に対する支払		756,574
未払：		
購入済み証券		63,516,992
運用会社報酬		20,710,131
専門家報酬		8,350,587
保管会社報酬		2,655,170
管理会社報酬		2,264,738
名義書換代理人報酬		429,949
受託会社報酬		187,068
その他負債		9,858
負債（償却可能受益証券の保有者に帰属する純資産を除く）		<u>211,927,553</u>
償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産	¥	<u>9,860,240,348</u>

包括利益計算書

2022年11月30日に終了した年度

収益

配当収益	¥	335,072,678
損益通算後の金融資産（デリバティブ以外）における純実現損益		1,116,648,154
デリバティブ金融資産および負債における純実現損益		(219,957,612)
外国為替取引による純実現損益		68,258,683
損益通算後の金融資産（デリバティブ以外）における評価損益の純変動		55,165,851
デリバティブ金融資産および負債における評価損益の純変動		(61,345,204)
外国為替取引による評価損益の純変動		(1,644,162)
収益合計		<u>1,292,198,388</u>

費用

運用会社報酬		62,993,748
管理会社報酬		7,349,271
保管会社報酬		6,532,040
専門家報酬		6,160,470
支払利息		3,991,933
名義書換代理人報酬		1,488,271
取引費用		1,420,480
受託会社報酬		1,049,906
登録料		500,415
その他費用		10,480
営業費用合計		<u>91,497,014</u>

金融費用控除前営業損益

1,200,701,374

金融費用

償却可能受益証券の保有者への分配 (1,539,740,003)

税引前償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産の増減額 (339,038,629)

源泉徴収税 (102,524,620)

運用の結果生じた償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産の増減額 ¥ (441,563,249)

ダイワ・スイス高配当株ツインα（毎月分配型）

投資明細
2022年11月30日

株数	有価証券の明細	純資産に 占める割合（%）	評価額
	普通株 (96.6%)		
	アイルランド (0.5%)		
	医薬品 (0.5%)		
5,418	COSMO Pharmaceuticals NV	0.5	¥ 48,008,056
	アイルランド合計		48,008,056
	スイス (96.1%)		
	銀行 (13.6%)		
17,338	Banque Cantonale Vaudoise	2.3	224,603,530
17,958	Cembra Money Bank AG	2.0	196,076,415
311,216	UBS Group AG*	8.0	785,128,766
8,895	Valiant Holding AG	1.3	131,318,595
			1,337,127,306
	バイオテクノロジー (0.1%)		
7,452	Idorsia, Ltd.	0.1	15,138,019
	建築材料 (2.8%)		
38,996	LafargeHolcim Ltd.	2.8	278,486,086
	化学 (6.1%)		
1,572	EMS-Chemie Holding AG	1.5	150,113,545
973	Givaudan SA	4.6	451,173,407
			601,286,952
	商業サービス (1.1%)		
23,910	Adecco Group AG	1.1	111,534,379
	コンピューター (1.3%)		
60,433	Softwareone Holding AG	1.3	126,215,712
	流通・卸売 (1.0%)		
3,130	Bossard Holding AG	1.0	94,663,844
	総合金融サービス (1.1%)		
12,404	Vontobel Holding AG	1.1	105,913,191
	電機 (5.5%)		
125,283	ABB, Ltd.	5.5	538,726,003
	エンジニアリング・建設 (0.6%)		
4,707	Burkhalter Holding AG	0.6	55,151,068
	食品 (11.2%)		
671	Barry Callebaut AG	1.9	188,982,481
55,932	Nestle SA	9.3	920,268,403
			1,109,250,884
	ヘルスケア製品 (1.9%)		
5,312	Sonova Holding AG	1.9	188,275,225
	ヘルスケアサービス (3.4%)		
4,699	Lonza Group AG	3.4	337,363,811

ダイワ・スイス高配当株ツインα (毎月分配型)

株数	有価証券の明細	純資産に 占める割合 (%)	評価額
	保険 (15.3%)		
3,694	Swiss Life Holding AG	2.8	271,377,703
35,584	Swiss Re AG	4.4	438,924,421
12,040	Zurich Insurance Group AG	8.1	798,635,388
			<u>1,508,937,512</u>
	機械 (1.8%)		
22,217	Accelleron Industries AG	0.6	62,556,366
14,488	Georg Fischer AG	1.2	120,312,635
			<u>182,869,001</u>
	金属製品 (0.9%)		
6,928	SFS Group AG	0.9	91,726,760
	その他製造業 (1.3%)		
4,767	Daetwyler Holding AG	1.3	126,649,120
	容器・包装 (1.7%)		
54,109	SIG Combibloc Group AG Class C	1.7	164,043,715
	医薬品 (19.5%)		
13,422	Galenica AG	1.4	142,323,149
77,037	Novartis AG	9.6	943,811,033
18,637	Roche Holding AG	8.5	840,164,570
			<u>1,926,298,752</u>
	不動産 (0.3%)		
1,720	Investis Holding SA	0.3	25,946,896
	小売 (2.5%)		
6,815	Swatch Group AG/The	2.5	249,332,009
	通信 (3.1%)		
4,071	Swisscom AG	3.1	303,008,984
	スイス合計		<u>9,477,945,229</u>
	普通株合計 (簿価 ¥6,949,766,604)		<u>¥ 9,525,953,285</u>

2022年11月30日時点の売建オプション残高 (純資産の-1.1%)

明細	行使価格	満期日	契約数	受取プレミアム	評価額
Call - OPTIDX Index Option	¥ 11,045	12/16/2022	2,820	¥ (66,444,832)	¥ (81,383,950)
Call - OTC Swiss Franc versus Japanese Yen	147	12/16/2022	30,800,000	(51,196,274)	(31,662,536)
				<u>¥ (117,641,106)</u>	<u>¥ (113,046,486)</u>

* 利害関係人

ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

<補足情報>

当ファンド（ダイワ・スイス高配当株ツイン α （毎月分配型））が投資対象としている「ダイワ・マネーアセット・マザーファンド」の決算日（2022年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの第112期の決算日（2023年6月19日）現在におけるダイワ・マネーアセット・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの主要な売買銘柄

2022年12月20日～2023年6月19日における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

2023年6月19日現在、有価証券等の組み入れはありません。

ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

運用報告書 第11期 (決算日 2022年12月9日)

(作成対象期間 2021年12月10日～2022年12月9日)

ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

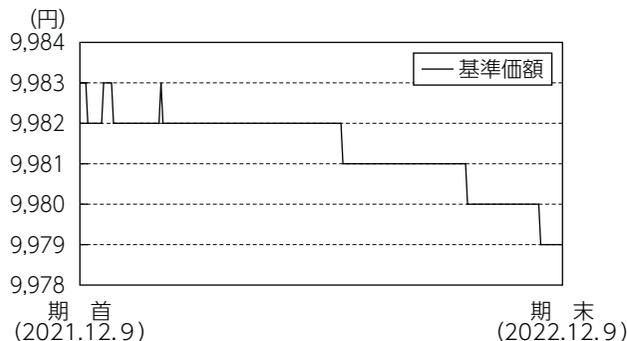
運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
株式組入制限	純資産総額の10%以下

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準価額		公社債 組入比率
	騰落率	騰落率	
(期首)2021年12月9日	円	%	%
12月末	9,983	-	-
2022年1月末	9,982	△0.0	-
2月末	9,982	△0.0	-
3月末	9,982	△0.0	-
4月末	9,982	△0.0	-
5月末	9,982	△0.0	-
6月末	9,981	△0.0	-
7月末	9,981	△0.0	-
8月末	9,981	△0.0	-
9月末	9,980	△0.0	-
10月末	9,980	△0.0	-
11月末	9,979	△0.0	-
(期末)2022年12月9日	9,979	△0.0	-

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：9,983円 期末：9,979円 騰落率：△0.0%

【基準価額の主な変動要因】

コール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項目	当期
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用	-
合計	-

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

当作成期中における売買および取引はありません。

■主要な売買銘柄

当作成期中における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

当作成期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2022年12月9日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
コール・ローン等、その他	88,110	100.0
投資信託財産総額	88,110	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2022年12月9日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	88,110,325円
コール・ローン等	88,110,325
(B) 負債	—
(C) 純資産総額(A - B)	88,110,325
元本	88,294,563
次期繰越損益金	△ 184,238
(D) 受益権総口数	88,294,563口
1万口当り基準価額(C / D)	9,979円

* 期首における元本額は603,229,011円、当作成期間中における追加設定元本額は15,027,049円、同解約元本額は529,961,497円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：

ダイワ債券コア戦略ファンド (為替ヘッジあり)	999円
ダイワ債券コア戦略ファンド (為替ヘッジなし)	999円
通貨選択型ダイワ米国株主還元株αクワトロプレミアム (毎月分配型)	219,583円
通貨選択型ダイワ米国株主還元株αクワトロプレミアム (年2回決算型)	24,953円
ダイワ米国株主還元株ツインαプレミアム (毎月分配型)	848,389円
ダイワ米国株主還元株ツインαプレミアム (年2回決算型)	66,873円
ダイワ米国株主還元株ファンド	64,214円
ダイワD B モメンタム戦略ファンド (為替ヘッジあり)	6,592,748円
ダイワD B モメンタム戦略ファンド (為替ヘッジなし)	10,288,683円
ダイワ/パリュール・パートナーズ・チャイナ・イノベーター・ファンド	10,000円
世界M&A戦略株ファンド	1,001,302円
ダイワ・ブラジル・リアル債α (毎月分配型) -スーパー・ハイインカム- α50コース	49,911円
ダイワ・ブラジル・リアル債α (毎月分配型) -スーパー・ハイインカム- α100コース	49,911円
S & P 500 (マルチアイ搭載)	66,079,892円
ダイワ・スイス高配当株ツインα (毎月分配型)	2,996,106円

* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,979円です。

* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は184,238円です。

■損益の状況

当期 自2021年12月10日 至2022年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 57,441円
受取利息	1,247
支払利息	△ 58,688
(B) 当期損益金(A)	△ 57,441
(C) 前期繰越損益金	△1,053,685
(D) 解約差損益金	953,937
(E) 追加信託差損益金	△ 27,049
(F) 合計(B + C + D + E)	△ 184,238
次期繰越損益金(F)	△ 184,238

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。